

令和7年度 生活支援体制整備事業 事業計画書

資料 5 - 2

受託法人	社会福祉法人 大阪市西成区社会福祉協議会
計画書提出日	令和7年7月22日

区域・圏域	項目	事業計画		実績 (具体的な内容・取組経過等)
		現状の課題	活動目標(具体的な内容・スケジュール等)	
I ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築	区域・全圏域	1. 第1層協議体の開催 高齢者の生活支援や介護予防の場について定期的に情報共有や意見交換を行う必要がある。	地域の現状やニーズ、課題、事業の取組み状況情報などの情報共有や意見交換をおこなう。	
	区域・全圏域	2. ニーズと地域資源の把握 区内のニーズや資源について把握する必要がある。	各種会議体や活動に参加し、活動者や参加者、関係者との情報共有や意見交換を通じてニーズや資源の把握を進める。	
	区域・全圏域	3. ネットワークの構築 事業推進のため、地域住民や関係機関、団体などとの関係づくりを広げる必要がある。	各種会議体や活動への参加、ニーズや資源の把握、情報共有、意見交換などを通じ、関係づくりを広げる。	
II 地域資源・サービスの開発等	区域全体	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充 ・ボッチャ活動が区内で拡がっているが、地域住民しか参加していない等の理由から誰でも参加しやすいボッチャ活動の場は少ないため、初めてでも参加しやすい場を作る必要がある。	A-1. ボッチャサークル(区域全体)	
	区域全体	B. 既存資源への継続支援 ・生活支援に関する資源が少ない。 ・食事や掃除、同行等のニーズはあるが、あまり対応できていない。	B-1. 西成まちの助っ人サービス	
	区域全体	C. その他講座開催など ・関係機関や企業と連携し、新たな参加者や活動づくりを進める必要がある。 ・会館以外の拠点を増やすきっかけ作りが必要。 ・eスポーツ等新たな介護予防のツールの周知を進める必要がある。	C-1. ジャガピー杯ボッチャ大会(区域全体) C-2. ボッチャサポーターステップアップ講座(区域全体) C-3. eスポーツ体験日(区域全体) C-4. eスポーツ大会(区域全体) C-5. スマホ相談会(区域全体) C-6. 西成区老人クラブ連合会ボッチャ大会(区域全体) C-7. スリーアイズ体験会(区域全体)	
	西成区圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充 ・他地域の住民とつながる場が少ない。 ・国道を挟んでいる地域があり、会館までに国道を渡る必要がある方の中には、通いの場への参加が難しいことがある。 ・既存の活動について、新しい取組みを実施し、より介護予防や参加者の関係づくりにつなげることが必要。 ・施設や事業所主体の活動場所へボッチャやeスポーツを周知、推進する。	A-1. 青春リターンズ(萩之茶屋地域) A-2. ボッチャカフェ(橋地域) A-3. ボードゲームカフェ(橋地域) A-4. 弘治地域百歳体操(弘治地域)	
	西成区圏域	B. 既存資源への継続支援 ・継続して活動している場所について、周知や運営面での支援が必要。 ・ボッチャが広がった活動場所について、助成金の案内や用具の貸出などの支援が必要。	B-1. 弘治地域百歳体操(弘治地域) B-2. たしばな和のつどい(橋地域) B-3. 岸里女性会百歳体操(岸里地域)	
	西成区圏域	C. その他講座開催など ・遠方へ行きづらい方のために地域会館等でのeスポーツやボッチャ体験が必要。 ・普段ニーズ調査が出来ていない方へのニーズ調査を行う。	C-1. eスポーツ体験(萩之茶屋地域)	
	玉出圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充 ・高齢者の健康維持のための新たな提案が必要 ・ボッチャを実施している地域が少ない ・eスポーツを推進する。	A-1. 南津守第1住宅集いの場(南津守地域) A-2. 昭和メロディー歌謡教室(千本地域) A-3. 溝口百歳体操(南津守地域) A-4. 百歳体操の場(玉出地域)	
	玉出圏域	B. 既存資源への継続支援 ・継続して活動している場所について、周知や運営のフォローなどの支援が必要。	B-1. あゆみ工房(南津守地域) B-2. 南津守百歳体操(南津守地域) B-3. 溝口医院ボッチャ(南津守地域) B-4. 南津守なかよし百歳体操(南津守地域) B-5. 千本ボッチャの会(千本地域) B-6. 栄光会館百歳体操(千本地域) B-7. 想い出教室(千本地域) B-8. くすの木百歳体操(玉出地域) B-9. やまき苑百歳体操(玉出地域)	
	玉出圏域	C. その他講座開催など ・地域ボランティア活動者の連携や活動の軽減に役立てるためのスマートフォン講座開催のニーズがある。 ・高齢者だけでなく、子育て世代、地域の企業や団体が興味を持つ居場所づくりに繋げる講座を開く必要がある	C-1. スマホ講座(南津守地域)	
	北西部圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充 ・高齢者の健康を保つための取組みとしていきいき百歳体操のニーズがあり区としても推進するねらいがある ・地域貢献の活動について支援が必要 ・ボッチャのニーズがあり開催場所が増えている ・住民の高齢化により歩行や移動に不安が高まっており、対策が必要。 ・既存の活動について、新しい取組みを取り入れることで、より介護予防や参加者の関係づくりにつながることが必要。	A-1. コミュニティカフェ北津守(北津守地域) A-2. 有田おしゃべり会(北津守地域) A-3. 北津守ノルディックウォーキング(北津守地域) A-4. 北津守モルック(北津守地域) A-5. 中津守住宅茶話会(津守地域) A-6. 津守ボッチャ(津守地域) A-7. 梅南ボッチャ(梅南地域) A-8. 梅南別館ごちやまぜ居場所【大人の隠れ家】(梅南地域) A-9. 長橋ボッチャ(長橋地域) A-10. 粟本道場踊り(長橋地域) A-11. きらきらシルバー(松之宮地域) A-12. 松之宮スマイル(松之宮地域)	
	北西部圏域	B. 既存資源への継続支援 ・継続して活動している場所について、周知や運営面での支援が必要。	B-1. 北津守百歳体操(北津守地域) B-2. 津守百歳体操(津守地域) B-3. 梅南おとこまえ百歳体操(梅南地域) B-4. 梅南いきいき百歳体操(梅南地域) B-5. カーサガーデンカフェ(梅南地域) B-6. 長橋百歳体操(長橋地域) B-7. 松之宮百歳体操(松之宮地域)	
	北西部圏域	C. その他講座開催など ・遠方へ行きづらい方のために地域会館等でのeスポーツやボッチャ体験が必要。 ・普段ニーズ調査が出来ない方へのニーズ調査を行う。	C-1. eスポーツ体験(松之宮地域)	
	東部圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充 ・ニーズのある活動について活動できる場所が限られている。 ・他地域の住民との繋がりが少ない。 ・新たな取組みを検討している高齢者施設がある。 ・モルックを始めようとしている団体がある。	A-1. かがやきボッチャ(天下茶屋地域) A-2. のぞみコグニサイズ(天下茶屋地域) A-3. のぞみモルック(天下茶屋地域) A-4. 天下茶屋老人クラブモルック(天下茶屋地域)	
	東部圏域	B. 既存資源への継続支援 ・継続して活動している場所について周知や運営面などの支援が必要。	B-1. 天水湯百歳体操(今宮地域) B-2. 西栄寺百歳体操(天下茶屋地域) B-3. オリーブの会(天下茶屋地域) B-4. のぞみボッチャ(天下茶屋地域) B-5. 今宮健康麻雀(今宮地域)	
	東部圏域	C. その他講座開催など ・遠方へ行きづらい方のために地域会館等でのeスポーツやボッチャ体験が必要。 ・普段ニーズ調査が出来ない方へのニーズ調査を行う。	C-1. eスポーツ体験(飛田地域)	

令和7年度 生活支援体制整備事業 事業計画書

資料 5 - 2

受託法人	社会福祉法人 大阪市西成区社会福祉協議会
計画書提出日	令和7年7月22日

	区域・圏域	事業計画			実績 (具体的な内容・取組経過等)
		項目	現状の課題	活動目標(具体的な内容・スケジュール等)	
III 活動の場の開発	西成区圏域	そんぽの家天下茶屋の活用	・社会貢献として場所を使ってほしい意向がある。	・現在ボーネームカフェで活用中の場へボッチャやeスポーツの活動も足してもらえるよう調整する。	
	西成区圏域	そんぽの家天下茶屋駅前の活用	・社会貢献として場所を使ってほしい意向がある。	・ボッチャカフェを始めたところ。活動が軌道に乗ればeスポーツの取組みを始められるよう提案する。	
	西成区圏域	西成労働福祉センターの活用	・社会貢献として場所を使ってほしい意向がある。 ・西成労働福祉センターで日中過ごされている方が何か活動に参加してほしいと考えている。	・西成労働福祉センターと社協の関わりがほとんどない状態のため、まずは社協を知っていただくことから始める。	
	西成区圏域	個人宅の活用	・会館までの距離が遠く地域活動に参加しにくい地域住民が、何か活動に参加できるように、百歳体操を始めたいという意向がある。	・百歳体操を始めるにあたり、保健師と打合せを行った。 ・必要物品等を確認し、助成金の申請を行い、百歳体操を始められるよう準備を進める。	
	玉出圏域	南津守第1住宅集会所の活用	・住宅の住民にとっては利便性が高いので集いの場としての活用を始める矢先に主体者が亡くなつたため、現在は止まっている。	・引き続き住民が参加しやすい活動ができる場所としての活用を検討する。	
	西成区北西部圏域	栗本道場の活用	・現在踊りを通した介護予防の場として活用 ・最初は参加者も多かったが少し減ってきてる	・どこの地域でも参加できる場のため、他地域の方にも声かけをしていく	
	西成区北西部圏域	中津守住宅集会所の活用	・昨年度市営住宅の住民向けに防災講座を実施した際のアンケートで茶話会のニーズがあることを把握。	・集会所の活用に向けて自治会に出席し説明する。 ・参加者の中からも協力者を探し、自分たちで活動を進められるように調整する。	
	西成区北西部圏域	はぎのさと別館の活用	・近隣地域で健康麻雀のニーズがある。 ・使用予定がない日は部屋を活用してもいいと考えている。	・地域住民を中心にどのような活動に参加したいかニーズを確認する。	
	西成区東部圏域	天下茶屋健康広場の活用	・男性の居場所が少ない ・広場を活用したいという地域住民の想いはあるが実際に至っていない。	・屋外でもできる活動の紹介をする。	
	西成区東部圏域	山王社会福祉会館の活用	・会長が子どもを巻き込んだ取組みを始めたいと考えている。	・会長の意向も確認しながら内容を企画する。	
IV サービスの実施情報の周知等	区域・全圏域	1. 様々な機会を通じた情報周知	・地域での取組みや生活支援体制整備事業の取組みなどについて、さらに多くの住民や関係者に周知する必要がある。	・薬剤師会をはじめ関係機関と連携し周知を図る。 ・連絡会等での周知活動。 ・ほっとネットにしなり等のイベント参加。 ・地域ケア会議等に出席し、通いの場や事業の周知を図る。	
	区域全体	2. 地域資源リスト・マップの更新・発行	・地域の居場所や助け合いを住民だけでなく関係機関にも周知する必要がある。 ・毎年度作成してきた地域資源リスト・マップについての需要があり、ケアマネや包括職員等の活用も増えている。	・地域の居場所や助け合い、相談先などを掲載している西成区暮らし・元気応援地域リスト及びマップの情報の更新やデザイン等の改善を図る。 ・紙媒体だけでなくホームページにも掲載する。 ・会議や情報提供時に活用し、周知を進める。	

令和7年度 生活支援体制整備事業 重点取組み計画書・報告書

【西成区域】

計 画 書	重点取組み 項目	II 地域資源・サービスの開発等 【区域全体】 C-3. eスポーツ体験日 C-4. eスポーツ大会
	背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会館以外の拠点が少なく住んでいる場所によっては拠点までの距離がある。 ・活動のマンネリ化を防ぐために新たな介護予防のツール導入を検討する必要がある。 ・昨年度eスポーツ体験を実施したところ約200名の参加（重複有）があり、そのうち90%が「またeスポーツをしたい」と回答しており、満足度が高い。 ・昨年度eスポーツ大会（ボウリング大会）を実施した際に、「また大会を開催してほしい」「次は優勝したい」といった声があった。 ・定期的に開催できる場所がほしいという声もあるが、老人福祉センター以外と協働に至っておらず、老人福祉センターでの体験イベントにとどまっている。 ・eスポーツの接続や対応のできる職員が限られている。
	活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職員だけでなく、参加者も機器の設営や簡単な操作ができるようになる。 ・体験会参加の成果を発揮できる場をつくる。 ・老人福祉センターに来ていない方々にもeスポーツの体験をしていただく。 ・老人福祉センター以外でeスポーツを定期的に楽しめる拠点を増やす。
	具体的 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度老人福祉センターにて体験会を実施し、サポーターになり得る人を発掘する。 ・機器の設営方法等のマニュアルを作成する。 ・四半期に1回程度大会を実施する。 ・老人福祉センターのアウトリーチ事業やイベントのブース出展等を活用する。 ・昨年度の実績を用いながら、他法人と体験会共催を図る。

令和7年度 生活支援体制整備事業 重点取組み計画書・報告書

【西成区圏域】

計 画 書	重点取組み 項目	II 地域資源・サービスの開発等 【西成区圏域】 A-1. 青春リターンズ（萩之茶屋地域）
	背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は国道を挟んで西側と東側に分かれており、地域会館が東側の端に位置しているため、国道より西側の住民は会館まで距離がある。 ・国道の西側には通いの場がないため、他地域の居場所に参加できる方でないと、孤独・孤立に繋がる恐れがある。 ・当該地域の西側にお住まいの町会長と女性部長のご夫妻から、近隣住民を中心とした孤独・孤立予防や筋力向上を目的に百歳体操等の居場所活動をしたいと連絡があった。 ・大阪市からおもりを借りて運営したいが、毎週開催に不安を感じていたり、参加者への連絡を社協がすると思っていたり、自分たちで運営するというイメージがあまり持っていない様子。 ・椅子はあるが、いきいき百歳体操を実施するには安定性がないため、いきいき百歳体操を実施できる椅子の購入が必要。
	活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・無理のない範囲で居場所活動を運営する。 ・百歳体操実施に必要な物品を購入する。 ・参加者同士の繋がりができるきっかけとする。
	具体的 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金の申請を行い、いきいき百歳体操に必要な椅子を購入する。助成金申請に伴い、団体情報を整理する。 ・椅子が揃うまでは、かみかみ百歳体操を実施し、運営に慣れるところから始める。 ・四半期に1回程度茶話会を実施し、参加者がコミュニケーションをとれる場を作る。

令和7年度 生活支援体制整備事業 重点取組み計画書・報告書

【玉出圏域】

計 画 書	重点取組み 項目	Ⅱ 地域資源・サービスの開発等 【玉出圏域】 ①A-2 昭和メロディー歌謡教室（千本地域） ②A-3 溝口百歳体操（南津守地域） ③B-1 あゆみ工房（南津守地域）
	背景・課題	<p>①「カラオケ会」の場が2か所あるが、どちらも参加者も内容もほぼ同じで、ずっと座ったまま1～2時間歌っているため、身体を動かすことも取り入れる必要があると考える。</p> <p>②体操後のポッチャがマンネリ化していると運営者からの相談があるため、新たなレクリエーションの提案が必要。</p> <p>③最近参加者が減少していると主催者から相談を受けていたところ、一部の参加者が運営に対する疑問や不満を持っていることが原因の1つであることが判明。もともとはご夫婦と事務関係の全てを担っていた男性の3人で運営をしていたが、現在は奥さんが主で運営し、事務をしている男性は月1回来ている状況であるため、奥さんの負担が大きくなっている。さらに物価高騰のため参加費を値上げしたが、運営の不透明さが残る等さまざまな要因があると思われるため、それらの課題を解決し、誰もが楽しめる居場所になるよう調整する必要がある。</p>
	活動目標	①eスポーツ体験会や百歳体操を実施する ②eスポーツ体験会を実施する ③運営の不透明さを解消し、皆が来たいと思える居場所にする
	具体的 取組み内容	①主催者や参加者にニーズや意向を伺う ②体験会の開催 ③主催者、支援者、各種関係機関と連携会議の実施

令和7年度 生活支援体制整備事業 重点取組み計画書・報告書

【西成区北西部圏域】

計 画 書	重点取組み 項目	Ⅱ 地域資源・サービスの開発等 【西成区北西部圏域】 A-8. 梅南別館ごちゃまぜ居場所(大人の隠れ家)
	背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・健康麻雀ができる場がもっとほしいという声がある。 ・花札ができる場所がほしいというニーズがある。 ・居場所活動に参加しない男性が多く、男性が参加しやすい場がほしいというニーズがある。
	活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・男性が参加しやすい場をつくる。 ・健康麻雀ができる場とする。
	具体的 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、地域とも話をしながら何をしたいか、何があれば、参加してくれか等協議する。 ・地域の方にニーズ調査と併せて、麻雀パイ・麻雀台・花札・将棋・囲碁・オセロなど使わなくなった物の寄付をお願いする。

【西成区東部圏域】

計 画 書	重点取組み 項目	Ⅱ 地域資源・サービスの開発等 【西成区東部圏域】 A-1. かがやきボッチャ
	背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・区内にある特別養護老人ホームにて地域住民も交えたボッチャ活動を立ち上げたいと考えている。 ・元々地域との繋がりづくりを目的に月に1回喫茶活動をしており、喫茶活動が休みの月もコーヒーの淹れ方講座やアロマ講座を開催する等、地域との繋がりを絶やさないように工夫をしている。 ・職員でボッチャのルールが分かっている職員がいない。 ・喫茶以外の活動を増やす余裕があるか分からない。
	活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ活動を立ち上げる。 ・施設と地域住民の交流の場とする。 ・施設職員に負担がかかりすぎないように工夫する。
	具体的 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者が楽しめる内容を確認のため、デイサービスのレクリエーションの一環でボッチャを実施する。レクリエーションで実施できるようレクチャーの時間を設ける。 ・ボッチャをお試し開催からスタートさせる。 ・ボッチャサポーターにも声かけし、運営兼参加者として場を盛り上げていただき、無理なく継続できるようにする。